



5月10日（水）は



「ノースマホ・ノーゲームデー」です！

5月10日（水）は、スマートフォンやタブレット、ゲーム機などをできるだけ使わない生活を送り、お子様と一緒に日頃の使い方を振り返りましょう！

「ノースマホ・ノーゲームデー」に家庭で取り組んでほしいこと！

1

フィルタリングの設定

・ペアレンタルコントロールも合わせて設定しましょう。

宮っ子ルール Ver.2

み

みんな必ずフィルタリング！

や

やる前に知ろう！ネットゲームのOK?NG!

つ

使う時間を決めよう！守ろう！

こ

怖いネットの落とし穴に注意！



裏面にある「わが家のスマホ・ケータイルール見直しシート」を使って、家庭でのルールを見直してみましょう。

「フィルタリング」にあわせ「ペアレンタルコントロール」を設定し、安心・安全に使わせましょう。

携帯電話各事業者の「あんしんフィルター」設定サイトのQRコード



docomo



au



Softbank



UQ モバイル



Y!mobile



フィルタリングはお子様を違法・有害情報との不用意な接触から守り、安心・安全にインターネットを利用する手助けをするサービスです。各携帯電話事業者のフィルタリングの名称が「あんしんフィルター」に統一され分かりやすくなりました。

ペアレンタルコントロールってなに？

携帯電話やゲームアプリ、ゲーム機などで保護者が設定を行うことで、有害情報へのアクセスをブロックするフィルタリングを設定したり、お子様の年齢段階に応じて、使用時間やダウンロードの制限を行ったり、写真や動画の投稿などを制限したりします。

ペアレンタルコントロールについては、各端末で設定するもののほか、アプリごとに設定するものもあります。（オンラインゲームでの課金やボイスチャットの設定など）使用状況に合わせて適切な設定をしましょう。



ゲームもね! わが家のスマホ・ケータイルール 見直しシート

家庭で定めたスマホ・ケータイや、ゲームの使い方のルールをきちんと守っていますか？
このシートを使って、家庭でのルールを見直してみましょう。

わが家のスマホ・ケータイルール

☑ フィルタリング設定済

※ ルールを決める際は家庭でよく話し合い、保護者が一方的に決めることのないようにしましょう。

つか じかん
使う時間は

つか ばしょ
使う場所は

つか かた
使い方は

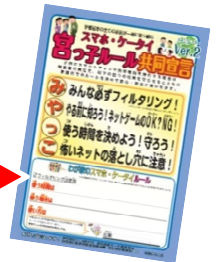
なまえ
名前



お家のひとと一緒に
ルールを見直そうね!!

「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言Ver. 2」のリーフレットを見ながら、
新たにどんなルールが必要か家庭で話し合いましょう。

もし、リーフレットがない場合は、自分のクロームブックや
スマートフォンのカメラで右のQRコードを読み取ることで、
リーフレットを見ることができます。



Instagram ツイッター

※ Instagram・Twitter は13歳以上でなければ使用できません。

InstagramやTwitter等のSNSを利用する前に!!

小中学生にスマートフォンが普及する中で、SNSの利用が、ネットトラブルやネットいじめをはじめ、誘い出しや誘拐など犯罪被害に巻き込まれるきっかけにもなっています。

お子様がどこかに逃げ出したい気持ちになったとき、SNSはお子様と悪意を持った人物を容易に繋げてしまいます。(右の図参照)

お子様が取り返しのつかない状況に巻き込まれる前に、SNSにもペアレンタルコントロールの設定をするなど、以下のルールを参考に、新たな家庭のルール作りについて話し合ってみてください。

《SNSを使う際のルール例》

- ・Instagramのファミリーセンター（ペアレンタルコントロール機能）を利用して、制限時間を設定したり、フォロー先やフォロワーを保護者と共有したりします。
- ・Instagramやツイッターへの投稿やコメント、DM（ダイレクトメッセージ）のやり取りは週（月）に一度お家の人と一緒に確認するようにします。

Instagramのファミリーセンター（ペアレンタルコントロール機能）の設定方法

保護者の端末上のInstagramからの操作 ※保護者と子供両方の同意が必要です。

「設定」⇒「ペアレンタルコントロール」⇒「招待を作成」⇒「Instagramでお子様を検索/お子様にリンクを送信」⇒「お子様が承認」し完了

SNSによる子どもの犯罪被害

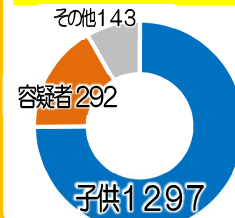
警察庁調査（令和4年）

SNSを利用して犯罪被害にあった児童生徒

1732人 { 中学生718人
小学生114人

犯罪被害の9割は
児童ポルノや児童買春等

子どもと容疑者が知り合うきっかけとなった最初の投稿



子どもが犯罪者と知り合うきっかけとなった最初の投稿は、約75%が子ども自身による投稿であり、趣味等の投稿から犯罪に巻き込まれる例が半数以上を占めています。